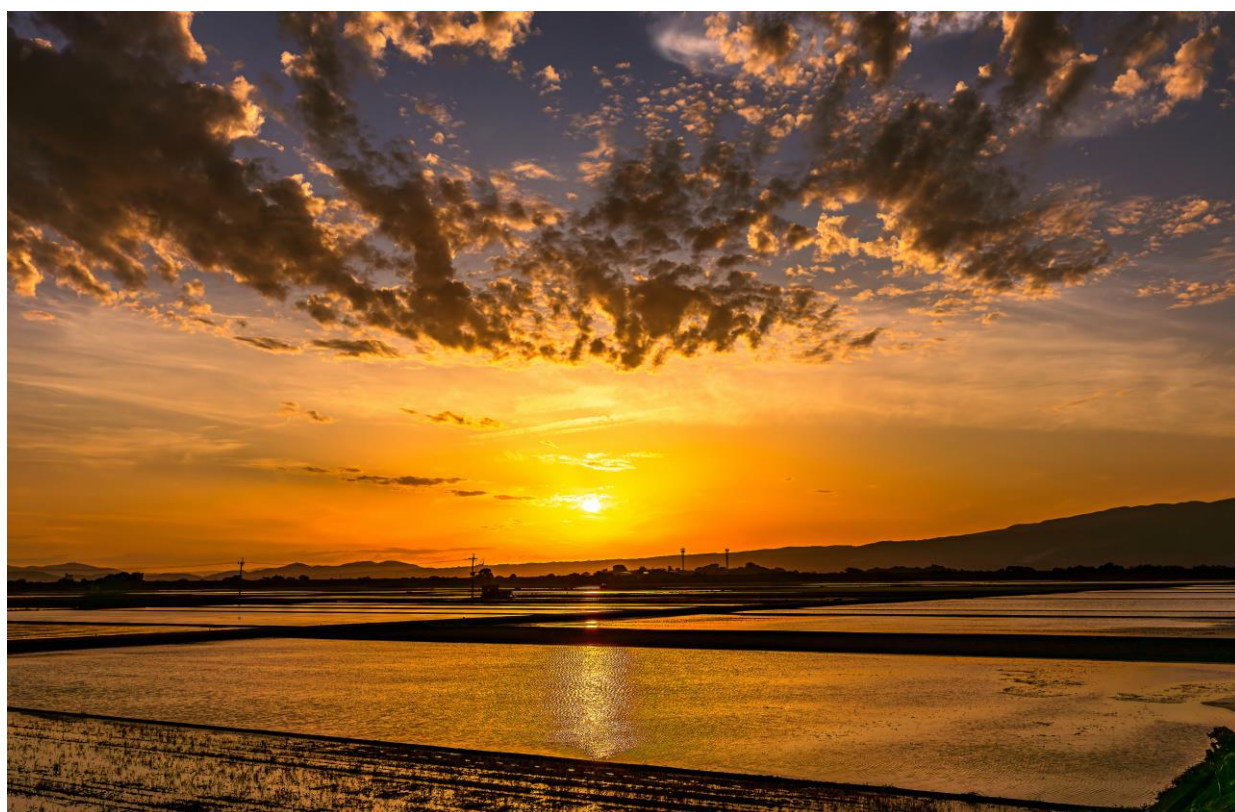


知っておきたい 雲仙市のしごと



‘つながり’で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

はじめに

雲仙市では、市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施しようとしているのかを市民のみなさんにお伝えするため、令和8年度予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の5つの基本方針に基づき今年度の主要事業などの内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく、分かりやすい内容に努めて作成しています。

本書により、市民のみなさんが雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりのための議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

財務部 財政課

雲仙市総合計画

将来像

“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

基本方針

- ① 暮らしと安心
- ② 産業と交流
- ③ 社会基盤と環境
- ④ 人財と郷土
- ⑤ 協働と戦略

知っておきたい雲仙市のしごと もくじ

1	令和8年度雲仙市当初予算の概要	4
	一般会計の歳入	6
	一般会計の歳出	8
	市民1人あたりに使われるお金	10
	現在の財政状況と今後の財政運営	12
2	令和8年度主要事業	14
	①暮らしと安心の事業	15
	②産業と交流の事業	21
	③社会基盤と環境の事業	28
	④人財と郷土の事業	37
	⑤協働と戦略の事業	39
3	ゼロ予算事業	41
4	資料編	43
	(1) 雲仙市の通知表(県内13市財政状況比較表)	44
	(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	45
	(3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道	46



1 令和8年度雲仙市当初予算の概要

令和8年度の雲仙市当初予算の全会計の合計は、

421億3,571万円 です。

雲仙市の会計は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」の3種類の会計があります。

お財布に例えると、使いみちや収入源の違う3種類のお財布があって、決められたルールにしたがってお金の出し入れをしています。



一般会計 基礎的な行政サービスを行うための会計

309億
8,736万円

一般会計とは、教育・福祉・まちづくりなど、市の基礎的な行政サービスを行う会計です。

市民税や固定資産税など、市民のみなさんが納める市税は、主にこの一般会計の各種事業に使われています。

特別会計 特定の事業を行うための会計

77億
1,262万円

特別会計とは、法律の定めなどにより、特定の事業を行うためのお金の管理を一般会計と区別している会計です。

雲仙市には、5つの特別会計があります。

国民健康保険特別会計・・・68億9,862万円 後期高齢者医療特別会計・・・7億2,232万円
国民宿舎事業特別会計・・・・・・・・5,645万円 温泉浴場事業特別会計・・・・・・・・3,326万円
企業誘致用地整備事業特別会計・・・197万円

企業会計 事業の収益で運営している会計

34億
3,573万円

企業会計とは、一般会計や特別会計と異なり、事業を行うことによって得られた料金などの収益で運営している会計です。

水道事業会計・・・・17億5,065万円

下水道事業会計・・・・16億8,508万円

雲仙市の特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

自営業の人、農家の人、会社を退職した人およびそれらの人に扶養されている人などが病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の人が病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理を行うための会計です。



温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理を行うための会計です。



企業誘致用地整備事業特別会計

企業誘致のための用地として、土地の購入や水道などのインフラ整備を行うための会計です。



水道事業会計（企業会計）

安定した飲料水の供給のために、配水管の工事や設備の維持管理を行うための会計です。



下水道事業会計（企業会計）

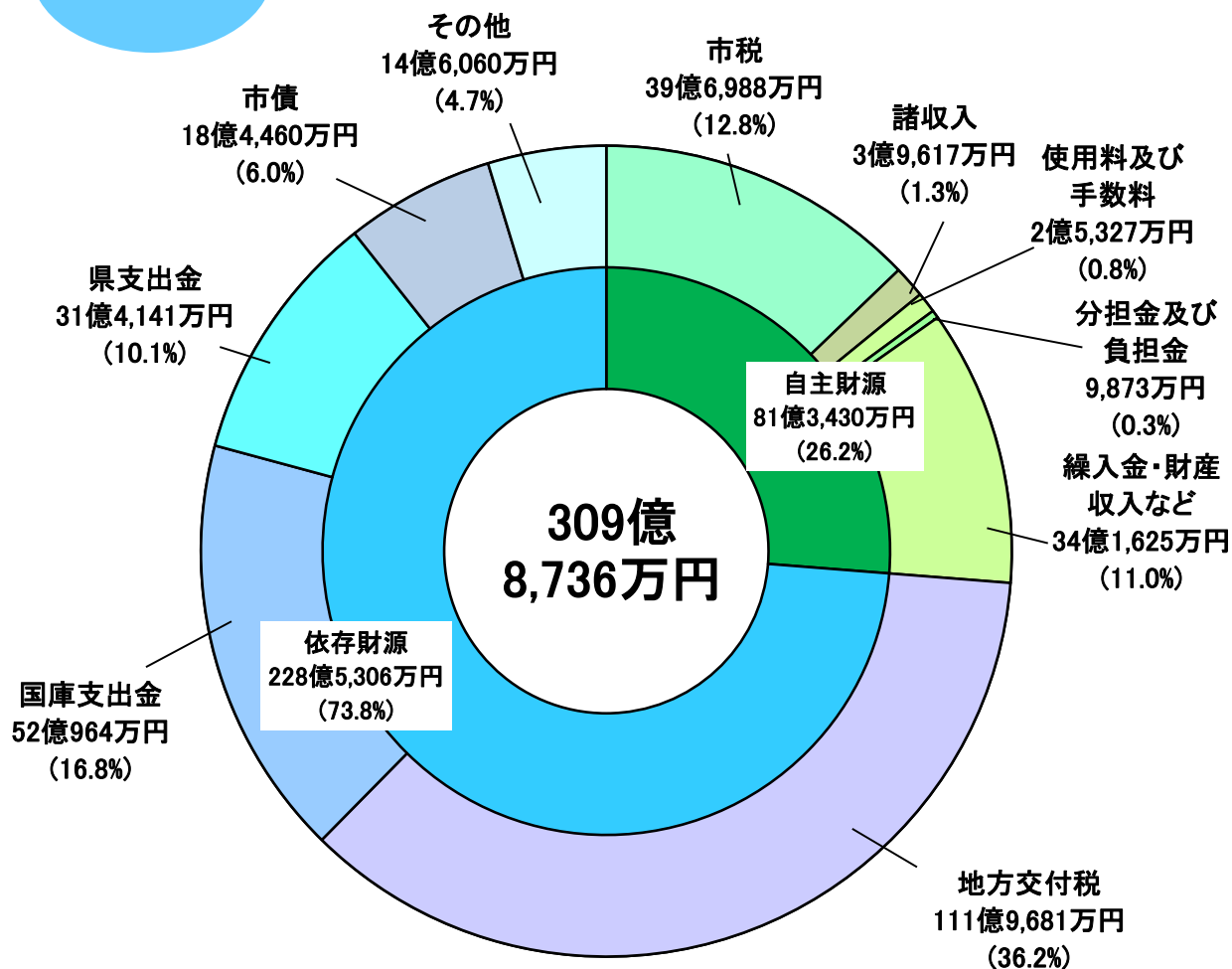
下水道施設の整備や施設の維持管理を行うための会計です。

- 公共下水道
- 特定環境保全公共下水道
- 農業集落排水処理
- 小規模集合排水処理
- 特定地域生活排水処理



一般会計

歳入



※表の金額は表示単位未満を端数調整しております。

Q. 予算とは？

A. あらかじめ計算した1年間の収入・支出の予定額のことです。



予算には、1年間のお金の使い方を決める「当初（通常）予算」のほか、当初予算では予測できなかった事などを行うために予算の追加や変更を行う「補正予算」があります。

歳入（収入）・歳出（支出）については、「一会計年度の収入のなかでその会計年度の支出をまかなう」と法律で定められていますので、会計年度のなかで計画的に運営する必要があります。

※一会計年度・・・4月1日から翌年3月31日までの期間

【自主財源】 一 市が独自に収入できるお金 一

- 市税……………個人や会社の所得に応じて支払う市民税や、土地や建物を所有する人が支払う固定資産税など、市民のみなさんが市に支払う税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や宝くじ配分金など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金……市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者や保育所の保護者負担金など）
- 使用料及び手数料……市のホール・体育館や市営住宅などの公共施設の使用料や、住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入……各種基金（貯金）の取り崩しなどにより繰り入れるお金や、市が所有する財産（土地など）を貸し付けたり、売り払ったりすることなどにより得るお金

【依存財源】 一 国や県からもらうお金や銀行などから借りるお金 一

- 地方交付税……………国民が一定水準の行政サービスを公平に受けられるよう、所得税や酒税などの国税の一部をもとに、市の人口規模などに応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金……………国が認めた特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………県が認めた特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………道路整備といった建設事業などを行うために、国や銀行などから借り入れるお金

Q. 予算はどのようにして決まるの？

A. ①～⑦の順序に従って事務が行われ、予算が成立します。



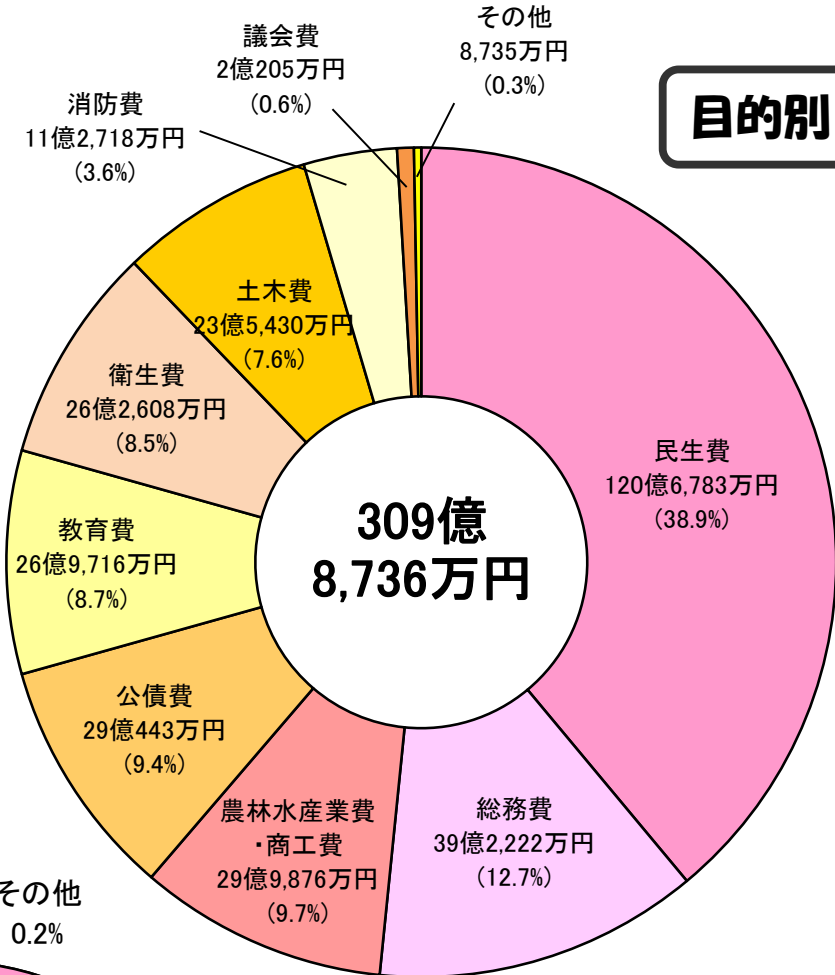
①予算編成方針の作成（10月下旬頃）→②各部局が要求書を提出（11月中旬頃）→③査定（11月下旬～1月）→④予算案の作成（2月上旬頃）→⑤議会への提出（2月下旬頃）→⑥議会の議決（3月下旬頃）→⑦成立

①まず、次の1年間に何をするか、基本的な考え方を財政課が提案します。②次に、①をもとに各部局が新規・継続・廃止の事業を決めて必要な金額を計算します。③④要求された予算について、財政課が各部局の担当者へ聴き取りを行い、財政状況、事業の必要性・効率性などの見地から審査を行います。その後、財務部長・副市長・市長の審査を受け、予算案を作成します。⑤⑥⑦市議会での議論を経て最終的に決定されます。

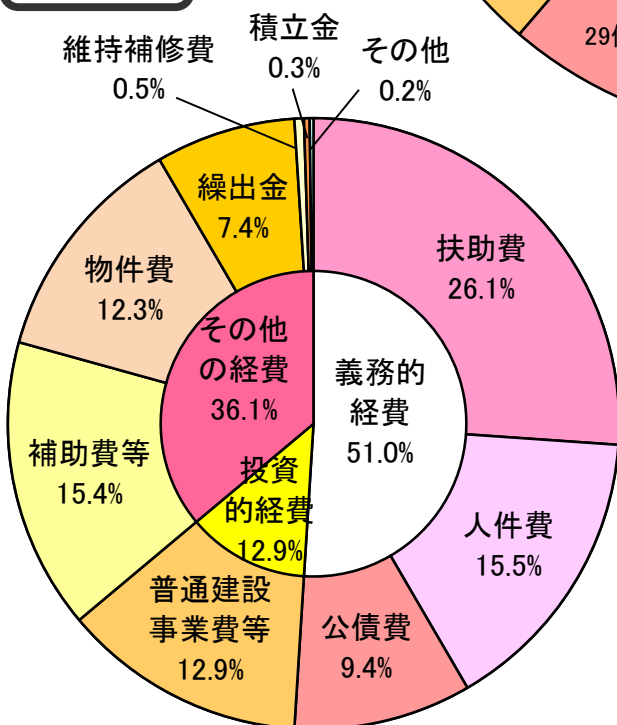
一般会計

歳出

目的別



性質別



※表の金額は表示単位未満を端数調整しております。

- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
(高齢者・障がい者の支援、保育施設などへの給付など)
- 総務費……………基礎的な行政活動や企画調整などのために使われるお金
(自治会活動の支援、移住定住、市有地・建物の管理、選挙経費など)
- 農林水産業費……農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
(農道や用水路、漁港の整備、基盤整備、後継者の育成、稚魚放流への補助など)
- 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
(中小企業者への資金貸付、企業誘致、観光イベント開催補助など)
- 公債費……………過去の建設事業などのために借り入れた市債(借金)返済のために使われるお金
- 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
(小中学校やホール、スポーツ施設の運営・管理、各種講座・講演会の開催、文化財の保護など)
- 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
(健康診断、予防接種、ごみ処理などの費用)
- 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
(道路の新設・改良、河川改修、市営住宅の管理など)
- 消防費……………消防・防災のために使われるお金
(消防署運営費の負担、消防団の活動費用、防火水槽の整備など)
- 議会費……………議会運営のために使われるお金

Q. 目的別歳出、性質別歳出とは？

A. 行政目的から見た歳出、経済的性質から見た歳出のことです。



【義務的経費】

職員や議員などの人件費、借金の返済、福祉、医療など、毎年支払う必要があるお金

【投資的経費】

学校、道路、庁舎などの整備や災害復旧にかかるお金

【その他の経費】

特定の事業を支援するための補助金など上記以外の市民サービスに必要なお金

市民1人あたりに使われるお金

令和8年3月31日現在、雲仙市の人口は、39,927人です。

一般会計予算について、市民1人あたりに、どれくらいのお金が使われるのか表してみました。

民生費

(福祉サービス)

30万2,250円



農林水産業・商工費

(農業、林業、水産業など)

7万5,110円



公債費

(市債返済)

7万2,740円



衛生費

(健康づくり、環境衛生など)

6万5,770円



市民1人あたり総額

77万6,100円

土木費

(道路、水路、公園整備など)

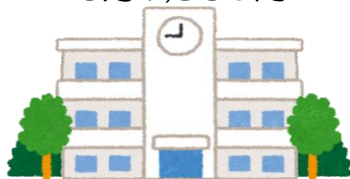
5万8,970円



教育費

(学校教育、スポーツ振興など)

6万7,550円



その他

(行政運営、消防・防災など)

13万3,710円



雲仙市の人口

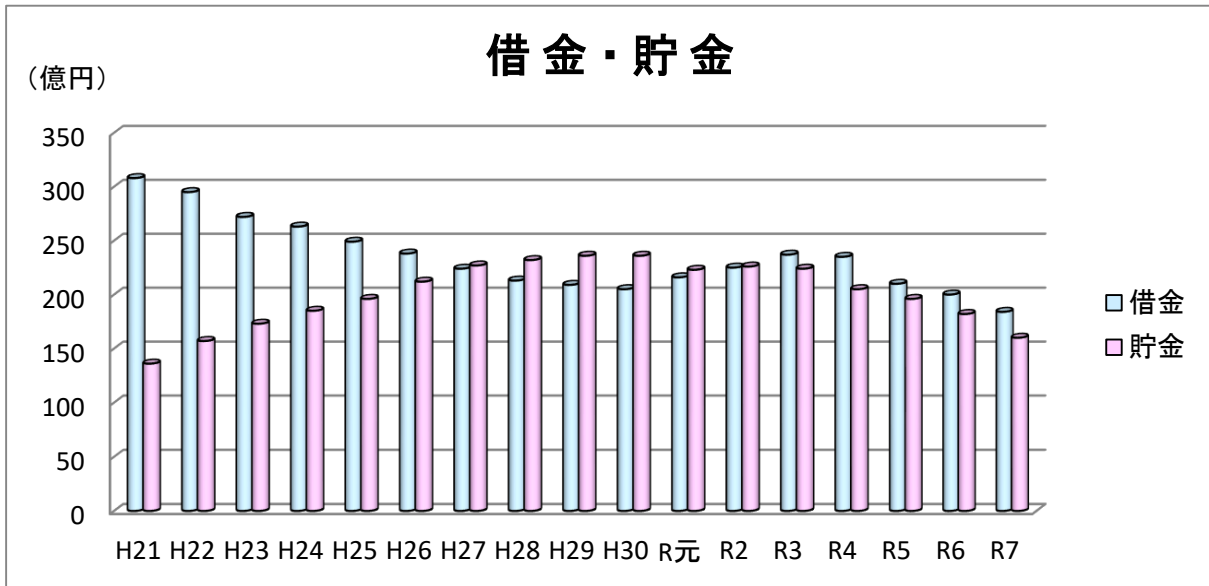
(令和8年3月31日現在)

男性 19,112 人

女性 20,815 人

合計 39,927 人

雲仙市の借金と貯金



※H21～R6決算、R7は決算見込みの金額

市民1人あたりの借金
46万1,673円

市債

市債(地方債)と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金
39万9,467円

基金

積立金(基金)と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

〈雲仙市の予算の特徴〉

本市では、健全な財政運営を目指して、借金の残高を出来る限り増やさないようにしつつ、将来の出費などに備えるため、計画的に運営にあたっています。

借金(市債)については、繰り上げ償還(返済期日より早く返すこと)などにより、残高の抑制に努めています。また、過疎対策事業債などの市債は、返済額のうち一定額を国から交付してもらえる有利な市債です。市では、そういった市債の割合を多くして、実質的な負担が少なくなるように努めています。

一方、貯金(積立金)については、継続的に運用益を積み立てており、財政規模に対する貯金の割合は、県内他市と比較すると多い方に位置しておりますが、令和元年度に初めて減少しました。このままの状況でいけますと、基金が枯渇する恐れがあることから、基金を取り崩さずに財政運営ができるよう、徐々に歳出予算規模を縮小していくこととしております。



～ バランスのとれた収入と支出を目指して ～

雲仙市の収入の半分以上は、国や県からもらう補助金や地方交付税などになります。その中で、最も大きな収入の「普通交付税」は、合併した際の特例として、15年間（平成18年度から令和2年度まで）は、合併していない自治体より多くもらっていました。

多くもらっていた期間には、特例が終了した後に収入が不足する場合に備えて、収入のうち支出を上回った分のお金を貯金していましたが、令和元年度には収入の不足が発生し、それから毎年、貯金を取り崩して収入不足を補いながらの運営が続いています。

今のまま、貯金を使いながら運営をしていくと、いずれは貯金が無くなってしまいます。

なお、市や県などの地方公共団体では、国のように収入不足を埋めるための借金はできないことになっています。

収入不足は、貯金で補うしかありませんので、市として運営していくためには、貯金が無くなってしまいう前に、収入を増やすか、支出を抑えていくしかありません。

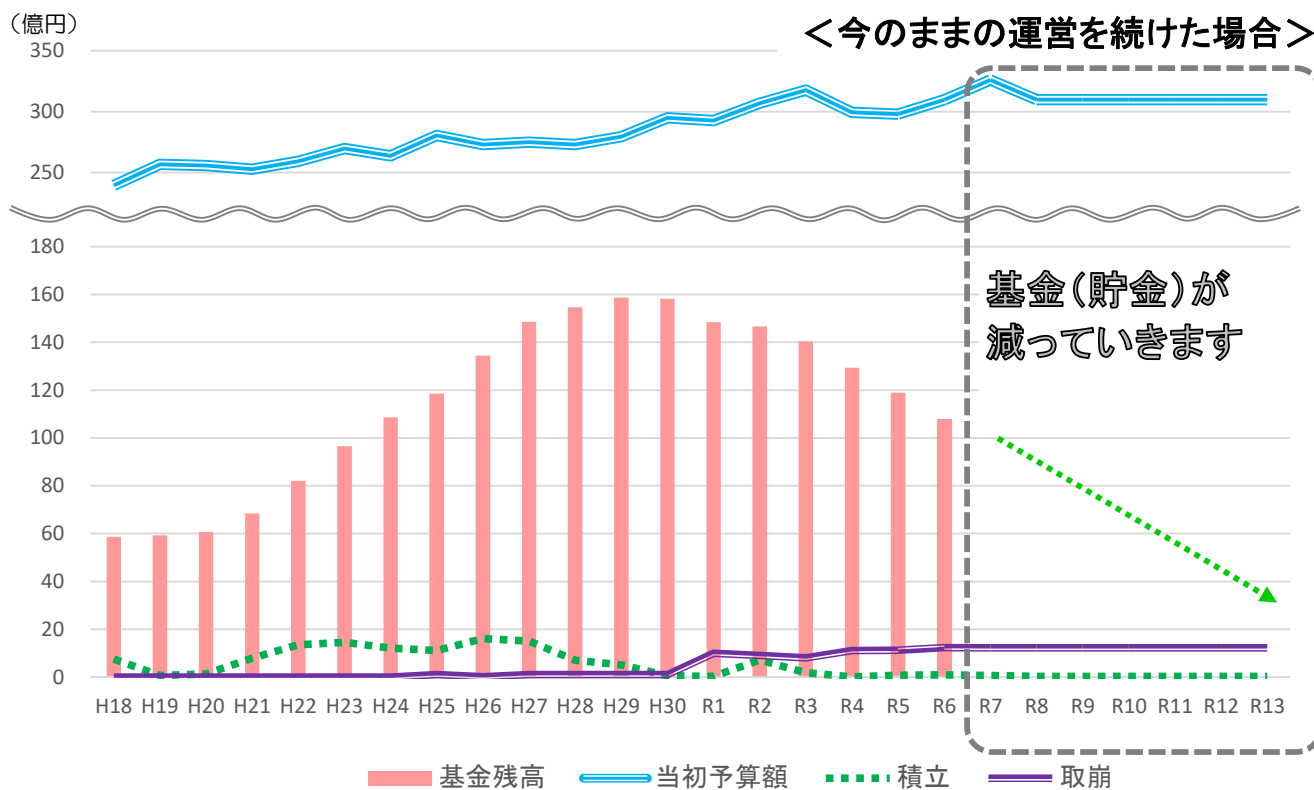
貯金が無くなってしまいう直前や無くなってしまってから、市民の皆さんへのサービスを急激に低下させてしまうことは、避けなければいけません。そうならないためには、今のうちから、収入に見合った支出にしていけるために、収入を増やしたり、支出を抑えたりする必要があります。

また、雲仙市は、7つの町が合併してできた市ということもあり、他の同じような規模の市と比べると、道路や公共施設が多く、それらの維持管理や改修などの費用が、今後、多くかかり、他のサービスに要する経費を圧迫することが見込まれます。

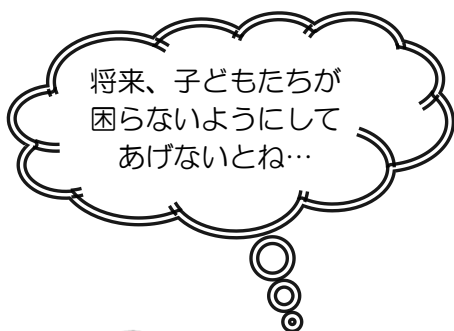
このようなことから、雲仙市の将来を見据え、公共施設を統合・削減していくことなどを進めるとともに、事業の見直し（統合、段階的削減、廃止）などを計画的に行っていく必要があります。

※雲仙市がもらった普通交付税の額は、平成25年度に約127億円だったものが、令和7年度には、約115億円になっています。

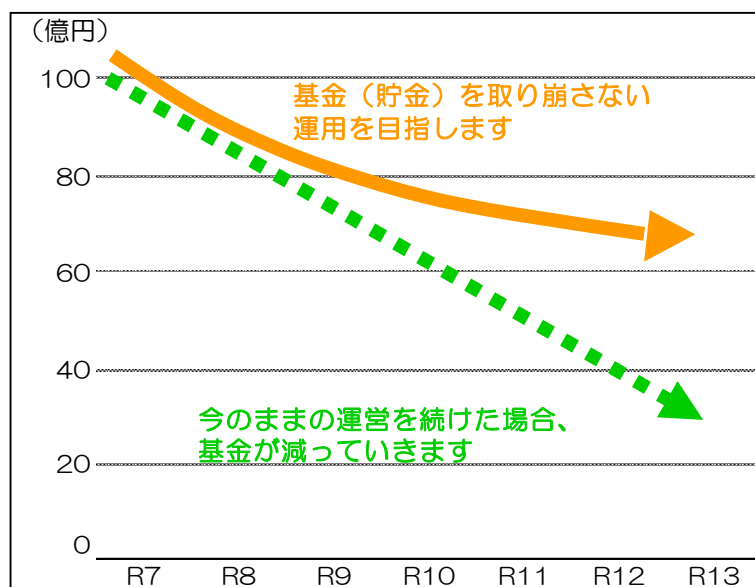
当初予算額と基金（貯金）の推移



※ここでいう「基金（貯金）」とは、主に収入不足を補うための財政調整基金、減債基金のことです。



＜今後の運営＞



2 令和8年度主要事業

●雲仙市総合計画の5つの基本方針

本市では、「つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像として、その実現化のために以下の5つの基本方針を設定し、それに沿って様々な事業に取り組んでいます。令和7年度に実施する主な事業について、各方針別にご紹介します。

- ①暮らしと安心 …… 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり
- ②産業と交流 …… 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり
- ③社会基盤と環境 …… 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり
- ④人財と郷土 …… 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり
- ⑤協働と戦略 …… 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営



(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

本市に住んでいる人や、これから住みたい人のための支援を行います。
これにより、人口減少対策や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

●事業内容

○定住促進奨励補助金

(新築住宅)

固定資産税額の1/2相当額(上限10万円)＋子ども1人あたり1万円

(中古住宅)

取得金額または、10万円のいずれか低い方＋子ども1人あたり1万円

○若者Uターン家賃補助金

市外から転入した18歳～35歳の人がある本市にある住宅を借りたとき、

家賃の1/2(最長1年間)を支援します。

上限額(月)1万5千円

○定住促進奨学金返還支援金【新規】

本市に5年間定住した方がその期間に返済した奨学金の1/2を支援します。

上限額30万円

○地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金

東京23区に在住または勤務する人が本市に移住して、就業や創業、関係人口等の要件を満たした場合に支援金を交付します。

単身：60万円 複数世帯：100万円＋子ども1人あたり100万円

○移住促進空き家リフォーム補助金

市外から転入する人が空き家を買ったり借りたりした場合、リフォーム費用の1/2(上限30万円)を支援します。

※空家等管理活用支援法人の場合2/3(上限80万円)

※空き家バンク登録物件は20万円の加算

○空き家等情報登録制度(空き家バンク制度)

空き家情報を市のホームページに登録し、空き家を貸したい(売りたい)

人と空き家を借りたい(買いたい)人をマッチングします。

○空き家バンク登録奨励金

空き家バンクに登録し契約が成立した場合、空き家の所有者や

空家等管理活用支援法人に対し5万円の奨励金を交付します。

○空き家活用促進奨励補助金

空き家バンク制度を利用するときに、空き家の状態の調査費用(上限7千円)

や、家財道具の片付け費用(上限10万円)、仲介手数料(上限10万円)

を支援します。

○高校生寮費等支援補助金

市内の高等学校に入学する生徒を確保し、学校の存続による地域活性化等を図るため、市内の高等学校に通学する高校生の寮費等を支援します。

○子育て世帯向け空き家活用事業補助金

空家等管理活用支援法人が空き家の改修や管理を行う際に、費用の4/5を支援します。

○移住者紹介特典事業

雲仙暮らしの魅力を紹介した雲仙市民及び紹介をきっかけに県外より本市に転入された移住希望者に対し、市の特産品を贈呈します。

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

人口減少対策として、出会いから結婚、出産まで切れ目ない支援を行い、定住人口の増加と、出生数の改善に向けて婚姻数の増加を図ります。



●事業内容

<出会いに関する支援>

- お見合いシステム登録促進補助金
長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制データマッチングシステム、「お見合いシステム」の登録料上限1万円を全額支援します。
- 婚活支援事業補助金
婚活イベントの開催経費を支援します。
上限5万円
- 婚活イベント事業
島原半島三市で婚活イベントを開催します。

<恋愛に関する支援>

- うんぜん恋活サポート
LINE、Zoomで恋活・婚活全般の不安や悩みの相談を受付けます。
恋活に役立つイベント情報も配信。

<結婚に関する支援>

- 結婚・定住支援金（結婚支援金）
婚姻時の年齢が、ご夫婦ともに42歳未満又はご夫婦の両方もしくはいずれかが42歳以上のご夫婦で対象期間中にお子様の出生があった場合に10万円の支援金を2年間（20万円）交付します。
- 結婚新生活支援事業
結婚に伴う新居費用や引っ越し費用などを支援し、新婚生活スタート時の経済的な負担を軽減します。
上限額：29歳以下の人 60万円、30歳以上39歳以下の人 30万円

<出産に関する支援>

- 結婚・定住支援金（赤ちゃん支援金）
お子様の出生があった場合に20万円の支援金を交付します。



①暮らしと安心

子どもの遊び・学び場運営費【新規】

740万円

(担当：総務部 政策企画課)

本市における子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設を活用した子どもの遊び・学び場の運営を行います。令和8年7月開館を目指し、準備を進めます。

●事業内容

- 事業主体 雲仙市
- 名称 雲仙市子どもの遊び・学び場いこいこ
- 位置 雲仙市瑞穂町西郷辛621番地7
(みずほすこやかランド内)

○構成施設

すくすくスペース、動の空間、静の空間、
図書スペース、交流スペース、
フリースペース、ものづくりスペース、
研修室、和室、授乳室、救護室、事務室 など



①暮らしと安心

地域福祉計画推進事業【新規】

672万円

(担当：健康福祉部 福祉支援課)

地域住民がお互いに支え合い、助け合い、安心して暮らすことができるよう、「第4期雲仙市地域福祉計画」を策定し、行政と市民が一体となって計画実現に向けて取り組みます。

●事業内容

令和2年度に策定した現行の第3期計画が令和8年度をもって終了するため、令和9年度からの第4期計画を策定します。

- ①計画全体の進捗状況、市民アンケート調査の内容、結果分析について協議を行います。
- ②地域福祉の推進について地域ごとに協議を行い、計画に反映させます。
- ③地域福祉計画策定業務の委託を行います。



①暮らしと安心

乳児等通園支援事業【新規】

919万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

全てのこどもの育ちを応援し、保護者の就労要件を問わず通園機会を提供することで、集団生活を通じたこどもの成長を促すとともに、専門的な支援により保護者の孤立や不安を解消し、子育て家庭への支援を図ります。

●事業内容

【利用対象児童】

- ①0歳6か月から満3歳未満（3歳の誕生日の2日前まで）のこども
- ②認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所、企業主導型保育事業所に在籍していないこと

【利用時間】

こども一人につき月10時間まで（翌月へ繰り越しは不可）

【利用料金】

こども一人1時間当たり300円程度



①暮らしと安心

予防接種事業

1億271万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

感染症に対する免疫を持たない乳幼児・学童等に対して、感染予防・発病防止・症状の軽減・病気の蔓延防止を目的として予防接種を行います。

●事業内容

- 定期予防接種（無料実施）
小児肺炎球菌、五種混合、BCG、B型肝炎、
ロタウイルス、麻しん・風しん、水痘（水ぼう
そう）、日本脳炎、子宮頸がん
- 任意予防接種（一部助成）
小児インフルエンザ
【対象者】 乳幼児から中学生
- 定期予防接種（無料実施）
RSウイルス母子免疫ワクチン【新規】
【対象者】 妊娠28週～36週の妊婦



①暮らしと安心

妊婦乳幼児健診事業

3,133万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

妊婦及び乳児の健康状態の確認と乳幼児の疾病や障害を早期に発見し、適切な治療や養育支援につなげます。

●事業内容

- 妊婦健診
出産までに14回の一般健診費用および精密健診費用を助成
- 多胎妊婦健診
一般健診に加え上限5回の健診費用を助成
- 乳児健診
生後1～11か月の間に3回の一般健診費用及び精密健診費用を助成
- 1歳6カ月及び3歳児健診における精密健診費用を助成



①暮らしと安心

母子保健事業

1,202万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

妊娠期から子育て期における母子の不安・孤立の解消や虐待の予防のため、健診や相談、訪問等を通じて安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行います。

●事業内容

- 母子健康手帳の交付（電子版母子健康手帳導入）【拡充】
- パパママひろば
妊婦および配偶者等を対象に年5回開催
- 妊産婦・新生児訪問
- 赤ちゃん健康相談
乳児を対象に4地区(5会場)で月1回開催
- 5歳児健診（発達支援）
- ことばと心の相談
臨床心理士、言語聴覚士による個別専門相談
- 産後ケア事業
訪問ケア、デイケア、ショートステイ
- 産婦健診事業
産後2週間・1カ月の産婦健診費用を助成



①暮らしと安心

災害対策事務費

7,702万円

(担当：総務部 防災安全課)

地震や大雨等による自然災害から市民の生命と財産を守るため、自主防災組織の育成、防災情報体制の整備・充実など地域防災体制の強化を図ります。

●事業内容

- 災害発生時に備え、避難所運営のため災害備蓄品の購入を行います。
- 地域防災強化のため、自主防災組織の結成促進及び育成を図ります。
- 防災情報や行政情報を迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線及び戸別受信機の保守・修繕などを行います。
- 新たに追加された河川の洪水浸水想定区域や高潮浸水想定区域などの情報を更新した防災マップを作成し、各世帯へ配布します。

(担当：観光商工部 観光物産課)

本市の特産品や食の魅力を市内外へ発信し、知名度と販路の拡大を目指します。あわせて、その魅力を再発見し磨き上げることで、地域ブランドとしての付加価値を高めます。

●事業内容

物産振興に関する基本協定締結先等と協力して本市の特産品や食の魅力を広く発信し、知名度と販路を拡大します。また、商品の磨き上げや情報発信を支援することで、特産品の価値を高め、生産者の意欲向上につなげます。



- 首都・都市圏物産PR事業
- 特産品開発事業【新規】
- 郷土料理伝承・普及事業【新規】
- 雲仙ブランド販売促進事業

②産業と交流

物価高騰対策特産品販売促進事業【新規】

926万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

物価高騰の影響により原材料費が上昇するなか、本市特産品の販売機会の創出や商品の付加価値向上を支援することで、特産品事業者の収益力強化を図ります。

●事業内容

【販路拡大バイヤー招聘事業】

都市圏物産バイヤーを招聘し、販売機会の創出につなげ、新たな事業展開を支援します。

【特産品販売促進事業】

物産展への出展や商品パッケージ等のデザイン改良等に要する経費の一部を補助します。

対象者：雲仙市内事業者

対象事業：①特産品販売促進事業
販売・PRに係る交通費等経費
②デザイン及び商品改良事業
商品パッケージや商品の改良に
要した経費

補助率：①補助対象経費の3分の2
上限：20万円/事業者
②補助対象経費の3分の2
上限：40万円/事業者

その他：対象事業ごとに1事業者1回のみの補助



②産業と交流

大正漁港緊急自然災害防止対策事業【新規】

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

大正漁港の西防波堤において、激浪による防波堤先端の石積みに乱れが発生していることから、補強のため石材の設置を行います。

また、潮流の影響により泊地内に砂等が流れ込み、水深が浅くなり漁業活動に影響が出ているため浚渫を行います。

●事業内容

- ・事業期間
令和8年度
- ・内容
全体計画 ○工種 泊地浚渫



(出典：国土地理院 地理院地図)

②産業と交流

物価高騰対策緊急経営安定化事業【新規】

4,464万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

物価高騰や金利上昇、賃金上昇等により市内事業者が厳しい経営環境にあることから、経営安定化を支援するため、市内事業者の資金繰り等のための新たな借入にかかる利子補給を行います。

●事業内容

○対象者：

- (1) 雲仙市内に事業所を有する商工業者
- (2) 県が金融機関・信用保証協会の協力を得て設ける制度融資のうち、下記の3つの制度融資を令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）に利用する市内事業者
 - ① 経営安定資金保証（貸付利率1.95%以内、貸付限度額8,000万円）
 - ② 経営力強化保証（貸付利率1.10%、貸付限度額5,000万円）
 - ③ 地域産業支援資金保証（貸付利率1.80%、貸付限度額5,000万円）

○補助内容

- (1) 上記の制度資金にかかる利子を3年間（36ヶ月）補助
- (2) 1事業者あたりの補助上限額 20万円/年×3年間（最大60万円）

②産業と交流

物価高騰対策中小企業設備投資等支援事業【新規】

3,911万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

物価高騰や金利上昇、賃金上昇等により市内事業者が厳しい経営環境にあることから、市内事業者の生産性向上・省力化・業務効率化のための新たな機械設備等への投資を支援します。また、市内事業者の従業員の資格取得を支援し、事業者による従業員の賃上げを図ります。

●事業内容

○対象者：雲仙市内に事業所を有する商工業者

○内 容：

1. 新たな機械設備投資への支援
 - ① 新たな機械設備等への投資
 - ・ 補助率1/2
 - ・ 補助上限額50万円、下限額25万円
 - ② デジタル技術・最新技術等を活用した新たな機械設備等への投資
 - ・ 補助率1/2
 - ・ 補助上限額100万円、下限額50万円
 - ③ 常時50人以上の従業員を雇用する事業者等の新たな機械設備等への投資
 - ・ 補助率1/5
 - ・ 補助上限額500万円、下限額100万円
2. 従業員の資格取得支援
 - ・ 補助率1/2
 - ・ 補助上限額30万円

②産業と交流

物価高騰対策バス整備費支援事業【新規】

312万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

物価高騰や金利上昇、賃金上昇等により市内事業者が厳しい経営環境にあることから、事業継続に必要なバスの維持・整備費用を支援します。

●事業内容

○対象者：雲仙市内に事業所を有する商工業者

○対象車両：11人乗り以上のバス（マイクロバス、大型・中型・小型バス）

○支援金：1台あたり6万円、1事業者あたりの上限額12万円（2台分）

※貸切バス・路線バス・タクシー・運転代行業者等は長崎県による重点支援地方交付金を活用した公共交通事業継続緊急支援事業の支援対象であり、本事業の対象外。

②産業と交流

長崎ミュージックフェスマラソン開催事業

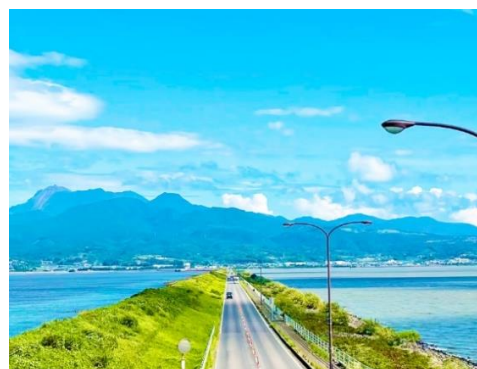
1,500万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

ランニングスポーツの普及振興を通じて、国内外から多くのランナーや関係者の参加による交流人口の拡大を目指すとともに、市民や県民のわがまち愛の向上を創設し、開催地の魅力を全国のみならず世界へ発信し地域活性化を図ります。

●事業内容

「ランニング」と「ミュージック」を融合させることで心地よいペースとリズムを刻みランニングから得られる爽快感と、ミュージックから得られる高揚感を楽しめるをコンセプトとし、県立総合運動公園（トランスコスモスタジアム長崎）を発着点としたフルマラソン及び関連イベントを行う。



主催：諫早市、雲仙市、一般財団法人長崎陸上競技協会
企画・運営：長崎ミュージックフェスマラソン実行委員会
特別協力：一般財団法人東京マラソン財団
種目：フルマラソン（42.195km）
開催日：令和9年1月31日（日）
募集人数：10,000人（見込み）

○大会の開催及び大会広報

会場設営、給水所運営、大会告知、ランナー・ボランティア募集など

②産業と交流

宿泊税導入支援事業【新規】

1,080万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

雲仙市の宿泊税導入にあたり、宿泊税にかかる周知を図るとともに、市内宿泊事業者が円滑に宿泊税を徴収できるよう支援します。

●事業内容

- ・宿泊税導入に係るPRツール（ポスター、チラシ等）の作成

【宿泊税導入支援事業補助金】

対象者：雲仙市内宿泊事業者

対象事業：宿泊税導入に伴って発生する既存のレジシステムの改修又は新たなレジシステムの構築並びにハードウェア及びソフトウェアの購入に係る経費等

補助率：補助対象経費の2分の1
(上限：50万円/事業者)



③社会基盤と環境

環境センター施設整備費

2,072万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

稼働開始から18年が経過し老朽化が進んでいる、し尿処理施設の設備機器を更新・改良します。

●事業内容

施設の概要

- 施設名：雲仙市環境センター
- 所在地：雲仙市国見町神代己10番地

工事の概要

- 工事名称：雲仙市環境センター基幹的設備改良工事（仮称）
- 工事期間：令和8年度～令和10年度
- 工事内容：資源化設備工事、脱臭設備工事、既設水槽工事、仮設工事等



③社会基盤と環境

道路河川公共土木事業

1億1,750万円

(担当：建設部 道路河川課)

自治会などが中心となって、身近な道路や水路の改良等を行うとき、工事に必要な資材費、機械経費、特殊経費を市が補助することで、市民と行政が協力し、施設整備の促進と利便性の向上を図ります。

●事業内容

【事業の種類および補助の要件】

事業の種類	補助の要件		
	事業費	利用戸数	採択基準
①市道の改良及び舗装	10万円以上 250万円以下 【拡充】 補助率 10/10以内	5戸以上	改良後の幅員3m以上 舗装の場合は現況幅員3m以上
②法定外公共物(里道)の改良及び舗装			改良後の幅員2m以上 舗装の場合は現況幅員2m以上
③法定外公共物(水路)の改良及び浚渫			改良後の断面が現況以上

※事業に必要な用地については、寄付を条件とします。(所有権移転が可能なものに限ります。)

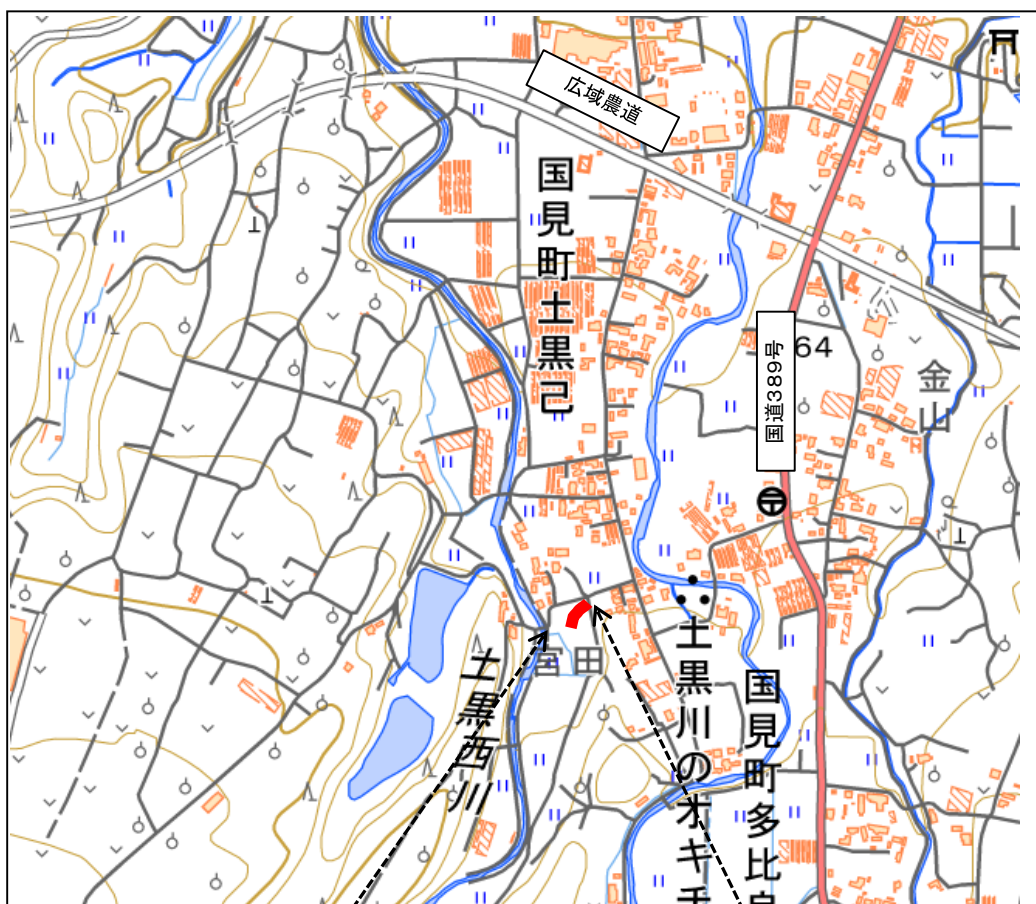


③社会基盤と環境

市道国見 堂徳線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 43m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

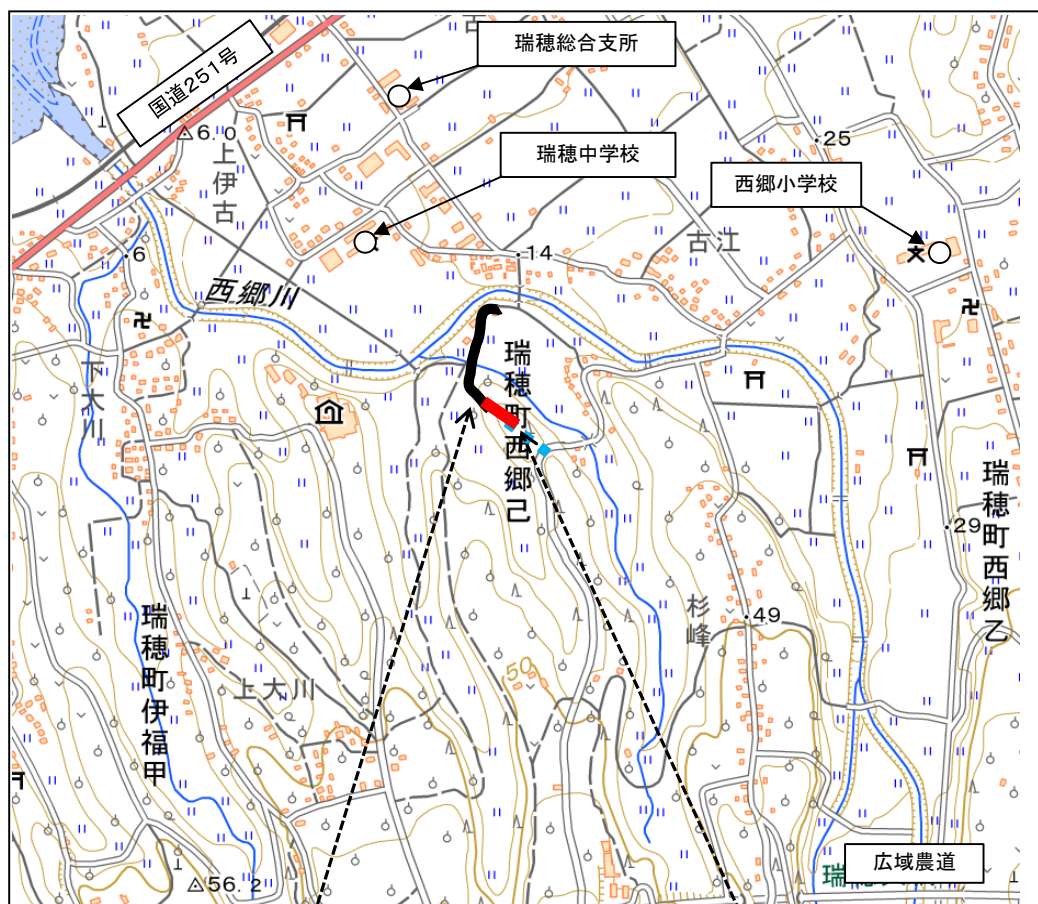


③社会基盤と環境

市道瑞穂 古江線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

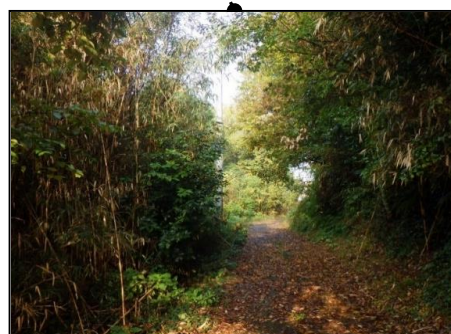
●事業内容 道路改良工事 長さ 65m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側



③社会基盤と環境

国道交差点市道取付事業

(担当：建設部 道路河川課)

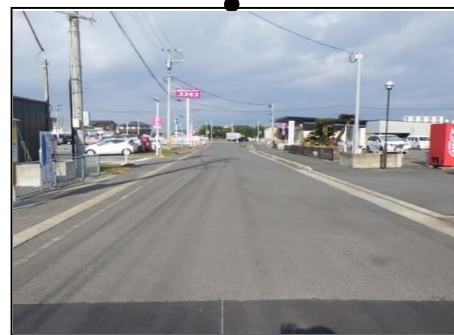
- 事業内容 道路改良工事 (市道部) 長さ 130m
道路改良工事 (国道部) 長さ 205m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

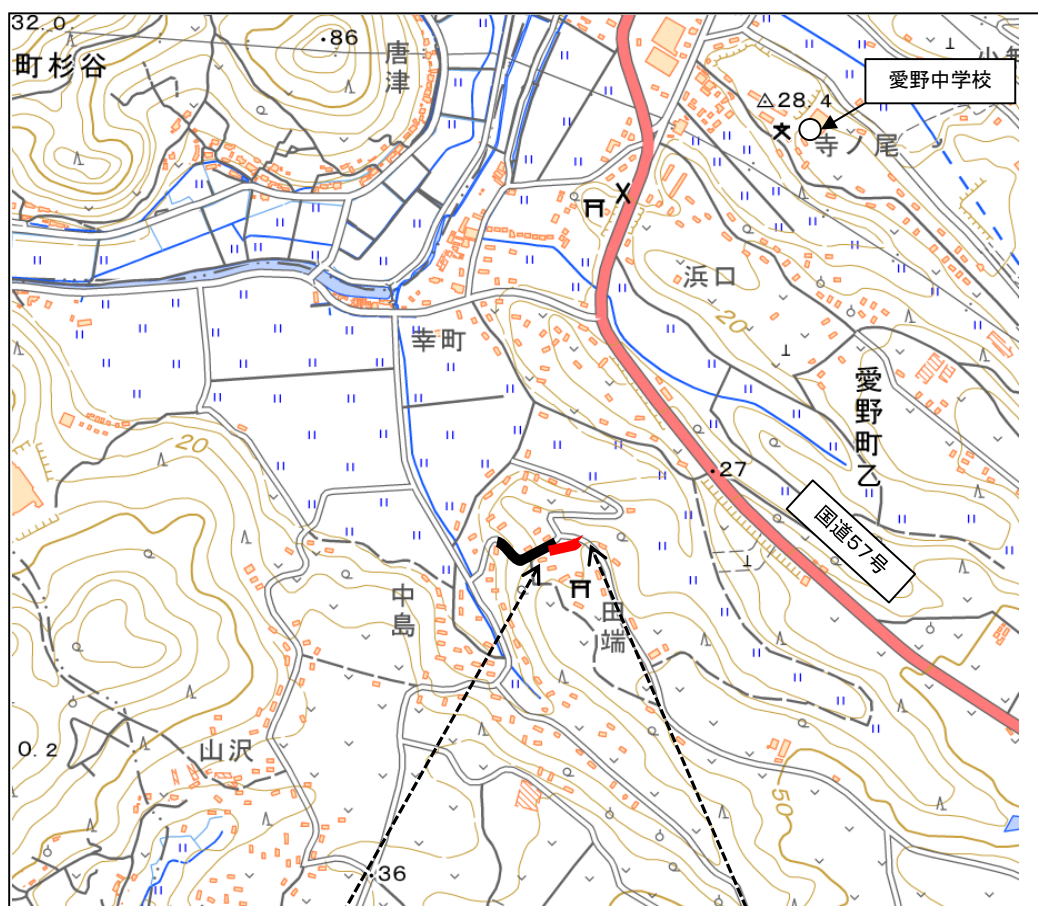


③社会基盤と環境

市道愛野 田端線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 79m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

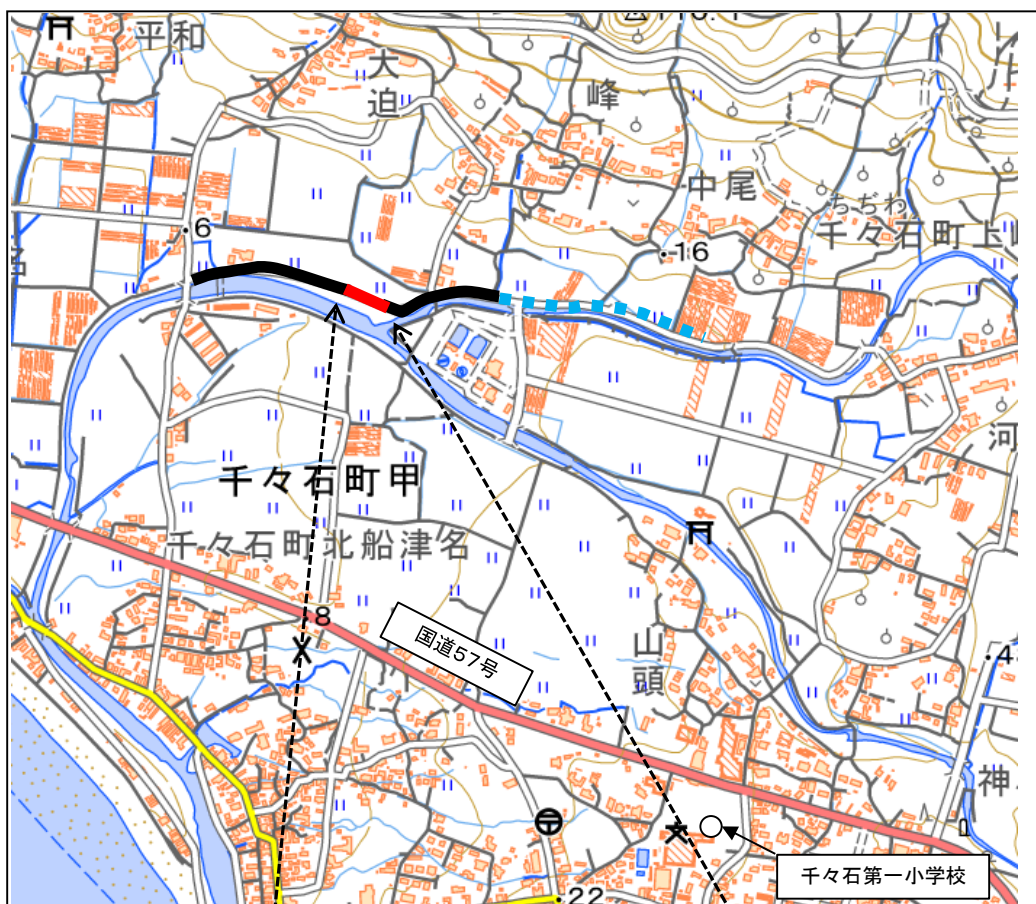


③社会基盤と環境

市道千々石 耕地線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 75m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

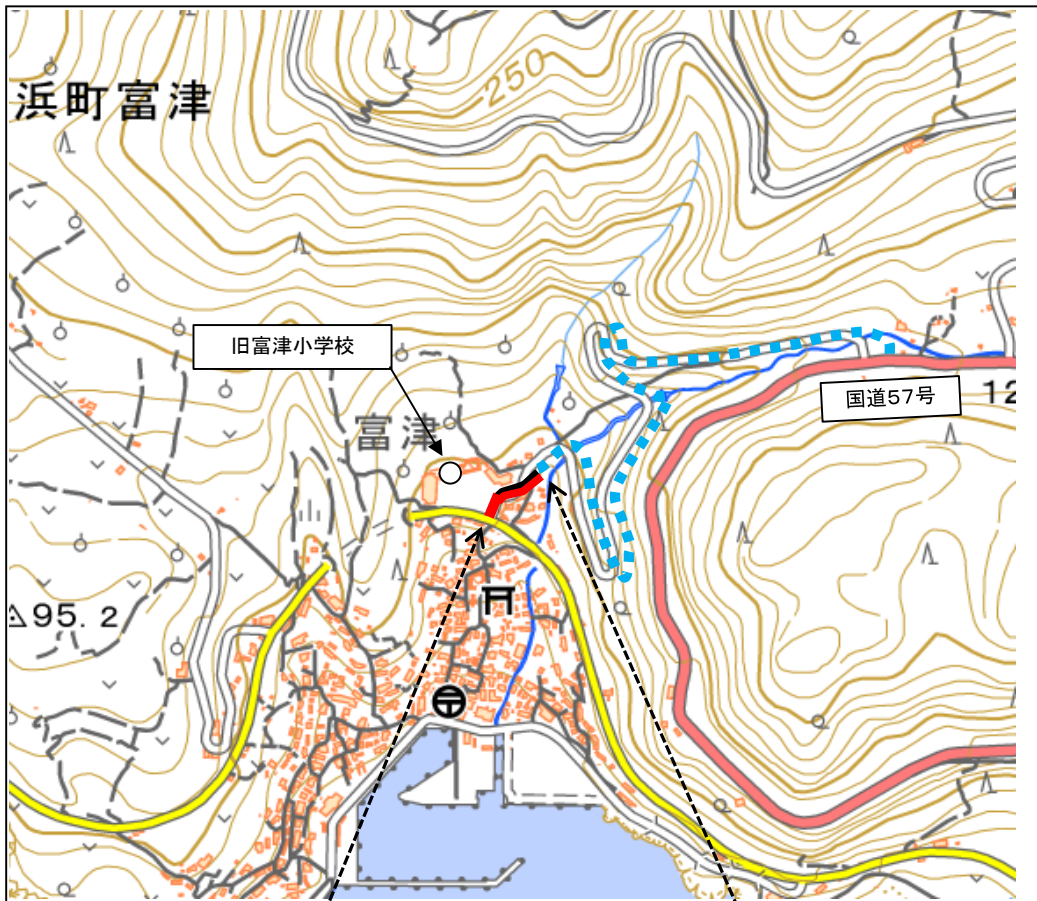


③社会基盤と環境

市道小浜 猿場線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 70m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側

終点側

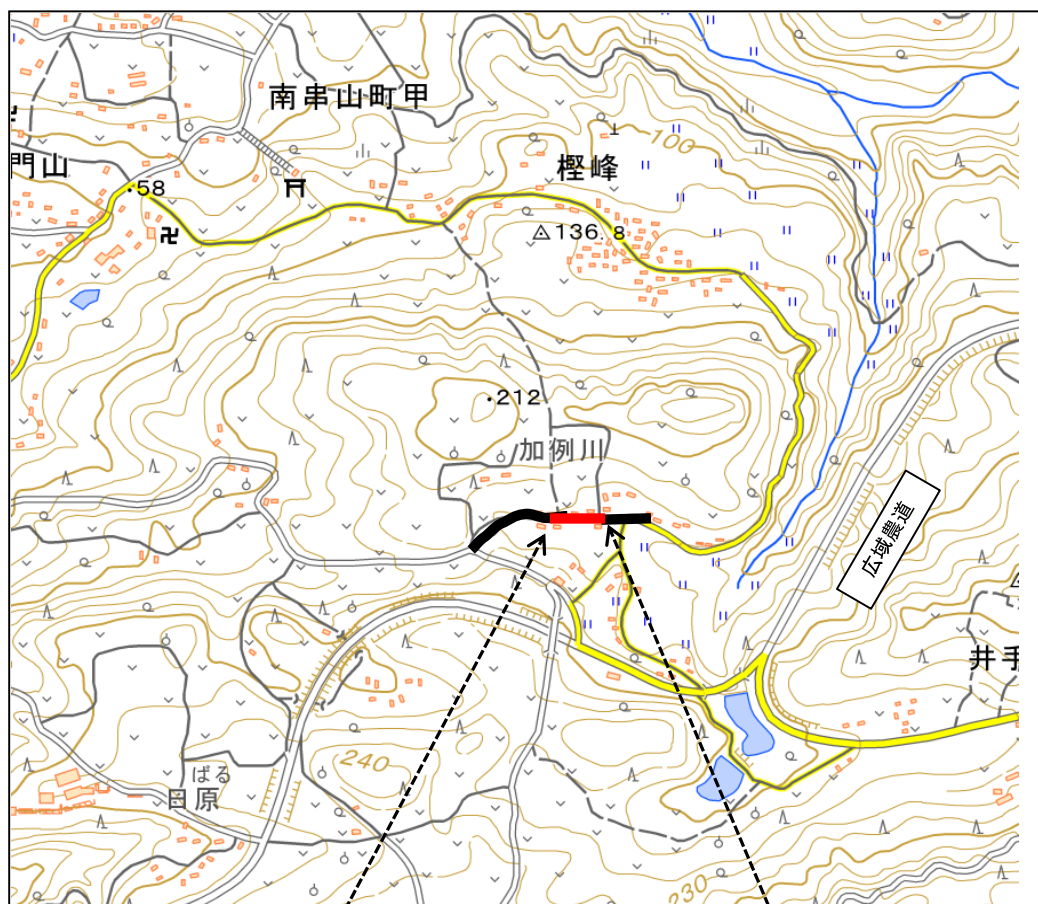


③社会基盤と環境

市道南串山 加例川線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 80m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側

起点側

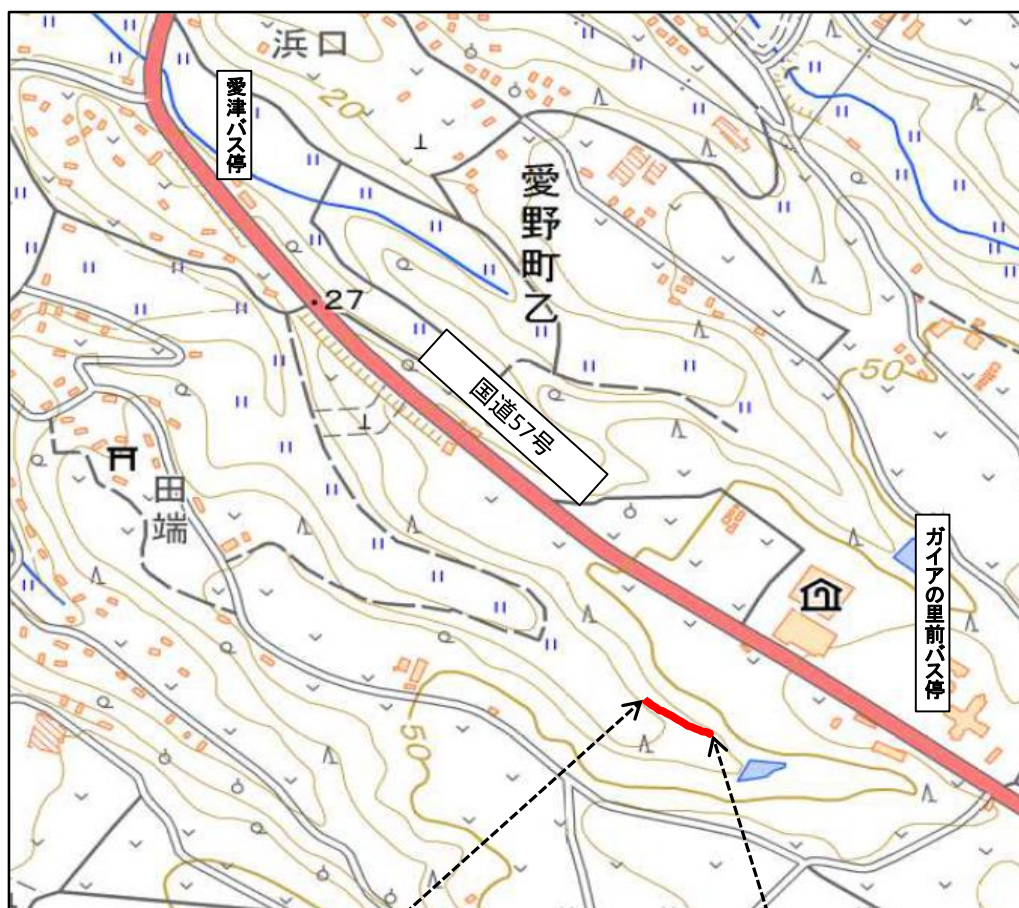


③社会基盤と環境

愛野 普通河川木場川改良事業

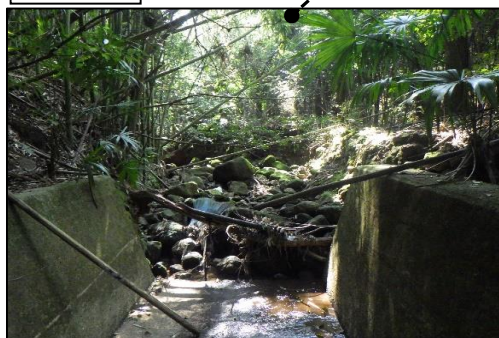
(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、必要な図面などを作成



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



(担当：教育委員会 総務課)

小・中学校における教育環境の向上及び安全安心な施設の整備に向け、
建具や屋上防水等の施設の改修を図る。

●事業内容

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ○小・中学校施設大規模改修事業 | 30件 |
| ・ 神代小学校貯水槽更新等工事 | |
| ・ 川床小学校校舎屋上防水等改修工事 | |
| ・ 南串第一小学校変圧器等改修工事 | |
| ・ 国見中学校クラブハウス改修工事 | |
| ・ 愛野中学校屋内運動場屋根改修工事 | |
| ・ 小・中学校 トイレ洋式便器取替工事 | (6件) |
| ・ 小・中学校 部分的な防水・外壁改修工事 | (2件) |
| ・ 小・中学校 空調設置工事 | (2件) |
| ・ 小学校LED化改修工事設計業務 | (7件) |
| ・ 上記のほか、小・中学校の改修工事設計業務 | (8件) |
| ○小・中学校施設単独整備事業 | 17件 |
| ・ 八斗木小学校掲揚ポール改修工事 | (15件) |
| ・ 小・中学校 遊具・バスケット装置の点検 | |
| ・ 上記のほか、児童生徒の危険回避や教育環境改善のための修繕 | |
| ○小・中学校施設環境改善交付金事業 | 6件 |
| ・ 小・中学校 トイレ洋式便器取替工事 | (4件) |
| ・ 上記のほか、小・中学校の改修工事設計業務 | (2件) |



川床小学校校舎屋上防水等改修工事



トイレ洋式便器取替工事

④人財と郷土

学校給食センター施設整備事業

8,504万円

(担当：教育委員会 学校教育課)

安全・安心な給食提供を支えるため、学校給食センターの老朽化した設備などの更新等を行い、施設・整備の長寿命化と安定した施設基盤の維持・改善を図ります。

●事業内容

- 学校給食用の食器を更新します。
- 給食を作るために必要な調理機器や設備の更新を行います。



⑤協働と戦略

シティプロモーション推進事業

727万円

(担当：総務部 未来創生課)

本市が取り組む各施策や本市の名所・偉人に光を当て、深く掘り下げること
で新たな魅力を創出します。また、SNSや電子看板など市のコンテンツのほか、
ウェブやテレビ、紙媒体など民間が持つ多彩なコンテンツを活用することで、
本市の知名度・好感度を総合的に向上させます。

●事業内容

○ゆかりの偉人を活用したシティプロモーション
本市の名所やゆかりの偉人など歴史的価値にスポットを当て、市内外に周知を図る。

○SNS宣伝広告
インスタグラムやYouTubeなどSNSで、市の施策やイベント情報などを発信

⑤協働と戦略

公共施設等総合管理計画推進事業

3,275万円

(担当：財務部 財産管理課)

将来的な人口減少を見据え、公共施設等の総量、配置の見直しに取り組むこ
とで、財政負担の軽減・平準化を図り、将来にわたって持続可能な行政サービ
スを提供します。

●事業内容

公共施設等の将来的な方針を定めた「雲仙市公共施設等総合管理計画・個別施設計
画」を、最新の状況に合わせて見直します。

⑤協働と戦略

企業版ふるさと納税推進事業【新規】

436万円

(担当：総務部 未来創生課)

企業版ふるさと納税の寄附額増に向けて、全庁的に取り組みを推進するとともに、全国の企業情報に精通した民間事業者へ業務委託を行い、専門的なノウハウや広範なネットワークを活用することで、営業活動を強化します。

●事業内容

- ①寄附獲得に向けた企業への訪問営業を強化します。
- ②全国規模の企業ネットワークを有する民間事業者への業務委託により、本市の事業に関心を持つ企業とマッチングを強化します。
- ③各課における業務上関わりのある関係企業に対し、パンフレット等の営業資料を発送します。
- ④市役所の全組織が連携し取り組む営業・PR活動の推進を行います。



3 ゼロ予算事業

ゼロ予算事業とは、職員の創意工夫によって、既存の人材や施設等をうまく活用し、特段の予算を必要としない事業のことです。
令和8年度は、17事業を予定しています。

①相談窓口（1事業）

②出前講座など（9事業）

③維持管理（3事業）

④その他（4事業）



区分	事業名	事業内容	担当課
相談窓口	遺言・契約等法律相談所開設事業	公証人が、奇数月の第2火曜日に相談所を開設し、遺言・相続・離婚・養育費などの相談に応じます。	地域づくり推進課
出前講座	雲仙市の台所事情出前講座	自治会などからの要請に応じて、財政運営・財政状況の出前講座を行います。	財政課
出前講座	防災出前講座	自治会などからの要請に応じて、自主防災組織の活動支援や防災に関することについて出前講座を行います。	防災安全課
出前講座	租税教室事業	雲仙市内にある小中高校を訪問し、税のしくみや役割などを、ビデオ・クイズなどを交えてわかりやすく説明します。	税務課
出前講座	高齢者福祉出前講座	自治会・団体などを対象とした、高齢者の福祉サービスに関する出前講座を行います。	福祉総務課
出前講座	介護予防出前講座	自治会・団体などの要請に応じて、介護予防に資する通いの場の立ち上げについて、説明会を行います。	福祉支援課
出前講座	環境学習事業	自治会・学校などの要請に応じて、正しいごみの分別や、リサイクルの推進など、ごみに関する説明会を行います。	環境政策課
出前講座	農業出前講座	農業従事者からの要請等に応じ、農業研修を集落単位で実施することで、地域の農業経営のレベルアップを図ります。	農林課 農漁村整備課
出前講座	未来の担い手事業	市内の小中学校からの依頼に応じ、職員が赴き、農林水産業にかかる説明や食育活動を職員自らが講師となり、授業や研修を実施します。	農林課 農漁村整備課
出前講座	地域の魅力を再発見！出前講座	市内中学校で地域の魅力を探究する学習のテーマに沿った講師を紹介、派遣します。	地域づくり推進課
維持管理	雲仙グリーンロード点検事業	雲仙グリーンロードの点検、鳥獣死骸処理を行います。	農漁村整備課
維持管理	市道吾妻平木場線道路公園除草事業	市道吾妻平木場線道路公園（干拓堤防道路との交差点部）の除草作業などを行います。	監理課 道路河川課
維持管理	環境美化事業	庁舎周辺の除草作業や空き缶、ごみなどの清掃作業を行います。	各総合支所
その他	時間外窓口交付事業	予約された人に対して、住民票、税証明書などの時間外交付を行います。	総合窓口課 税務課 各総合支所
その他	リサイクル(衣料等)の無料配布	ストックハウスにて回収した、状態の良い古着や本などを、市主催のイベント等で無料配布します。	環境政策課
その他	企業メール配信事業	商工業などに関する情報を月1回程度、登録業者へ電子メールによる情報配信を行います。	商工労政課
その他	市内小中高校への選挙器材貸出事業	市内小中高校の生徒会選挙時などに、実際の選挙で使用する器材を貸し出し、投票への意識向上を図ります。	選挙管理委員会

4 資料編

- (1) 雲仙市の通知表（県内13市財政状況比較表）
- (2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費
- (3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道



(1) 雲仙市の通知表 (県内13市財政状況比較表(令和6年度決算ベース))

	歳出額		標準財政規模		財政力指数	
	市名	百万円	市名	百万円	市名	指数
1	長崎市	237,638	長崎市	102,172	諫早市	0.63
2	佐世保市	129,462	佐世保市	61,231	大村市	0.63
3	諫早市	77,594	諫早市	36,202	長崎市	0.57
4	大村市	71,340	大村市	23,155	佐世保市	0.53
5	南島原市	34,540	南島原市	17,253	松浦市	0.51
6	対馬市	33,647	対馬市	17,069	島原市	0.42
7	五島市	32,419	五島市	16,696	西海市	0.29
8	雲仙市	31,737	雲仙市	16,449	雲仙市	0.28
9	平戸市	27,099	平戸市	13,087	南島原市	0.25
10	島原市	26,194	杵岐市	12,549	平戸市	0.24
11	杵岐市	23,707	島原市	12,384	五島市	0.24
12	西海市	22,136	西海市	12,234	杵岐市	0.22
13	松浦市	19,801	松浦市	9,270	対馬市	0.20



	経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高 (対標準財率が高い順)			積立金現在高 (対標準財率が高い順)		
	市名	%	市名	%	市名	%	市名	百万円	対標準財 %	市名	百万円	対標準財 %
1	南島原市	86.5	南島原市	-5.7	雲仙市	-	南島原市	20,455	118.6	大村市	47,154	203.7
2	西海市	90.3	西海市	1.7	佐世保市	-	雲仙市	19,730	119.9	西海市	17,569	143.6
3	雲仙市	90.6	雲仙市	4.0	島原市	-	諫早市	47,443	131.0	雲仙市	20,057	121.9
4	対馬市	91.3	平戸市	5.3	諫早市	-	西海市	18,243	149.1	平戸市	13,798	105.4
5	平戸市	92.8	佐世保市	5.7	大村市	-	佐世保市	95,480	155.9	南島原市	18,137	105.1
6	松浦市	93.7	島原市	5.9	平戸市	-	大村市	38,886	167.9	松浦市	9,050	97.6
7	五島市	93.8	諫早市	6.6	五島市	-	島原市	20,956	169.2	五島市	15,946	95.5
8	島原市	95.0	杵岐市	8.3	西海市	-	松浦市	16,875	182.0	対馬市	14,690	86.1
9	佐世保市	95.8	大村市	8.5	南島原市	-	杵岐市	22,940	182.8	杵岐市	9,362	74.6
10	杵岐市	97.9	五島市	8.6	杵岐市	22.0	平戸市	24,494	187.2	島原市	7,123	57.5
11	諫早市	98.1	対馬市	9.5	対馬市	27.9	五島市	33,065	198.0	諫早市	18,444	50.9
12	長崎市	98.8	松浦市	10.1	松浦市	29.3	対馬市	39,374	230.7	長崎市	42,355	41.5
13	大村市	99.4	長崎市	10.4	長崎市	91.6	長崎市	255,972	250.5	佐世保市	23,092	37.7

※対標準財とは、標準財政規模に対する比率のことです。

●標準財政規模とは

地方公共団体が通常の状態では毎年定期的に収入が見込まれる一般財源(自由に使えるお金)の総額のことです。

●財政力指数とは

財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は普通交付税の不交付団体となります。

●経常収支比率とは

人件費・扶助費・公債費などにより毎年度定期的に支出する経費に、地方税・地方交付税などの経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、この指数が小さいほど、財政的に弾力性があるといえます。

●実質公債費比率とは

借入金(市債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下します。

●将来負担比率とは

地方公共団体の一般会計の借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担などの、現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

●地方債現在高とは

地方公共団体が借り入れてきた地方債の累積額を表しており、これにより、今どれくらい未返済の借金が残っているかがわかります。

●積立金現在高とは

地方公共団体が将来必要となる財源に充てるため積み立てた資金(基金)の累積額であり、いわゆる貯蓄(貯金)と同じ意味合いで、今どれくらい蓄えがあるかがわかります。

(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費

「社会保障4経費」とは、社会保障制度として確立されている「年金」「医療」「介護」並びに「子ども・子育て支援」のための施策に要する費用のことです。平成26年4月1日から施行された消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、増収となった地方消費税交付金については、その用途を明確化し、これらの社会保障経費に充てるものとされています。

令和8年度一般会計当初予算における社会保障経費への充当状況については、下記のとおりです。

(歳入)

地方消費税交付金(社会保障財源化分) 574,126 千円

(歳出)

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 13,104,860 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業名	令和8年度 当初予算額	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	10,676,752	6,297,677	154,500	440,880	382,883	3,400,812
社会保険	1,391,075	425,631	0	25,976	95,068	844,400
保健衛生	1,037,033	24,007	61,000	1,616	96,175	854,235
合 計	13,104,860	6,747,315	215,500	468,472	574,126	5,099,447

● 『社会福祉事業』とは

生計の困難な方や心身に障害のある方に対する援助など、国民の生存権を確保することによって、国民生活の内容を豊かにする事業を意味します。

【具体例】生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など

● 『社会保険事業』とは

法令に基づき実施される国民健康保険、年金などの制度に関する事業を意味します。

【具体例】国民健康保険、介護保険、年金など

● 『保健衛生事業』とは

国民の健康を保つための事業を意味します。

【具体例】医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など

(3) 令和8年度当初予算における「ふるさと納税寄附金」の使い道

「ふるさと納税」とは、生まれ育ったふるさとや好きな自治体を、寄附を通じて応援できる制度です。寄附をすることで所得税・住民税の控除を受けられるほか、自治体のまちづくりを支援することができます。

本市では、ふるさと納税による寄附金の使い道について、雲仙市総合計画の基本方針に基づく下記のメニューを設定し、寄附の際にその使い道を選んでいただくことで、寄附者の皆さまの意向に沿ったまちづくりを行っています。

令和7年1月～9月にかけて、全国各地から4億2,907万2千円（22,564件）もの寄附金をいただきました。この寄附金は「雲仙市ふるさと応援基金」に積み立て、令和8年度において下記の事業の財源として活用させていただきます（最終的な活用実績は、年度終了後に市のホームページにて公開します）。

【令和8年度雲仙市当初予算 ふるさと納税寄附金活用予定事業】

基本方針		寄附額	活用予定事業
①	暮らしと安心 安心して子どもを産み育てる まちづくりと健康で安全な暮らしづくり	2億2,986万1千円	○民間教育・保育施設給付事業 (担当課：子ども支援課)
②	産業と交流 雇用を生み出す産業づくりと 人を呼び込む観光地域づくり	4,615万6千円	○農地保全事業 (担当課：農漁村整備課)
③	社会基盤と環境 社会基盤の整備と自然環境と 調和したまちづくり	3,398万2千円	○道路河川公共土木事業 (担当課：道路河川課)
④	人財と郷土 将来を担う人財づくりと歴史 と文化が輝く郷土づくり	1,677万9千円	○スクールサポーター配置事業（小学校） (担当課：学校教育課) ○スクールサポーター配置事業（中学校） (担当課：学校教育課) ○読書活動振興事業 (担当課：生涯学習課)
⑤	協働と戦略 市民一人ひとりが主役の協働 のまちづくりと効率的で戦略 性をもった行財政運営	365万円	○自治集会所等整備費補助金 (担当課：地域づくり推進課)
⑥	その他（※）	9,864万4千円	○光り輝く雲仙力アップ事業 (担当課：農林課) ○商工振興費補助金 (担当課：商工労政課) ○道路橋りょう維持管理費 (担当課：道路河川課) ○学校給食費補助事業（中学校） (担当課：学校教育課)

※⑥「その他」に寄附をいただいた分については、①～⑤の事業の中から市長がどの事業に活用するかを決定しています。

令和7年寄附額 合計	4億2,907万2千円	寄附件数：22,564件
------------	-------------	--------------

寄附をいただいた皆さまの雲仙市への温かいご支援に心からお礼申し上げます。